

水稻 栽培情報10月号

令和6年9月30日
JAみづま
久留米普及指導センター

【水稻】

1. 生育概況

出穂期は昨年より1～2日程度早くなりました。出穂後の気温は平年より高く経過しており、収穫時期についても昨年より2日程度早くなる見込みです。刈遅れにならないように、適期収穫に向けた作業を実施しましょう。

2. 収穫時期予想

出穂期や収穫時期は、移植時期、圃場条件、肥培管理等で異なります。実際の収穫時期は、自身の圃場を見て判断してください。

○収穫時期予想（※立毛検見および出穂期後の積算気温により予想）

品種	出穂期（6/22植）	収穫時期
夢一献	8/24	10/1～
ヒノヒカリ	8/26	10/9～
ヒヨクモチ	9/7	10/23～

※出穂期後積算気温（夢一献:900～1080℃、ヒノヒカリ:900～1050℃、ヒヨクモチ:930～1100℃）を
収穫時期として久留米アメダスの値により予測しています。

※収穫適期の目安は黄褐色籾の比率が80%になった時です。

籾水分は28%（早限）～21%（晩限（夢一献））、22%（晩限（ヒノヒカリ、ヒヨクモチ））です。

※刈遅れは、胴割れ米の発生など品質低下につながるため、計画的な収穫作業を行いましょう。

3. 水管理（落水）

○落水の時期は収穫前1週間程度が目安です。早すぎる落水は充実不足を招きます。

- ・圃場条件や天候を考えて決めてください。可能な限り早期の落水を避けましょう。

4. 雑草防除

- ・ヒエ、アゼガヤなどの雑草が圃場内に残草している場合は、収穫前には手取りを行い来年の発生を抑制しましょう。

5. 収穫後の稲わらについて

- ・稲わらは地力維持、排水性向上、土壌柔軟化のため、焼却せずに鋤きこみましょう。
- ・麦作付け予定の圃場では、わらは「短め」にカットし、圃場一面、均一になるようにしましょう（特に、枕部分などに偏らないように）。耕起後、降雨に遭うとしばらく圃場に入れず播種が遅れるため、すき込み・耕起は播種直前に行いましょう。